

あしべつ

市議会だより

2017年
5月1日
No. 3

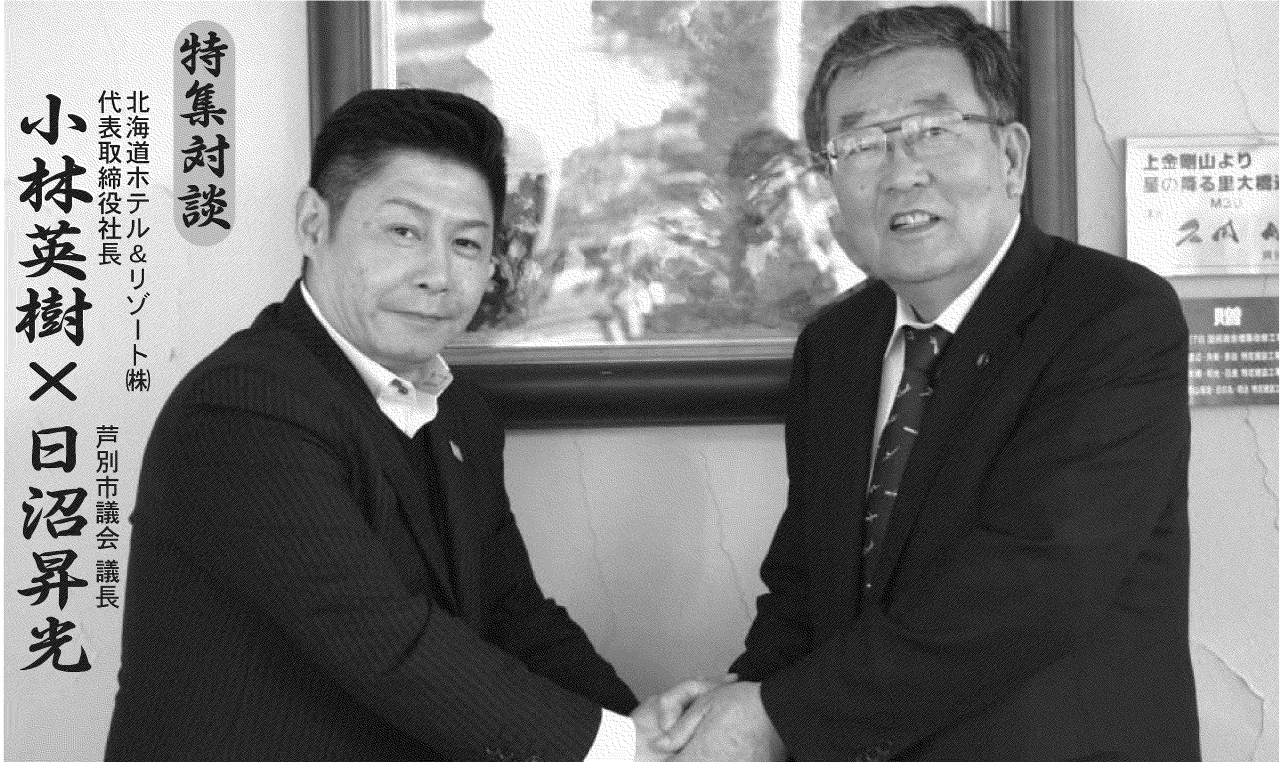
芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/gikaijimu/gikai.html>

特集対談

北海道ホテル&リゾート(株)
代表取締役社長

小林英樹 × 日沼昇光

芦別市議会 議長



4月7日 芦別温泉スターライトホテルにて対談



荻原 貢 新市長誕生

芦別市議会議長 日沼 昇光

平成29年の年が明けた1月12日、市議会臨時会が開催され、その場で今野市長は「芦別振興公社の経営体制を刷新し、努力を続けてきたが、結果として経営改善を図ることができなかった」とし、「市政の混乱を招いた責任の多くは私にあると認識している」と辞職表明をされました。

今野市長就任後の市政運営や議会対応については、市民から様々な厳しい批判が相次いでいましたが、議会の責務は市長提案に対する監視機能にあります。市長辞職の採決では、全会一致で同意され芦別市政始まって以来の任期半ばでの辞職という結果になりました。

新市長誕生に向けては、市内の労・農・商・工・林の有力な関係団体において、混迷を続けてきた市政を打開し、前に進めるべく、前回のようにはマチを二分するような選挙はなんとか避けたいとして、オール芦別での市長候補の一本化を模索した結果、過去の副市長時代における行政手腕を評価し、荻原 貢氏に市長選挙への出馬を懇請した中で受託されました。

市長が変わっても問題が解決されたわけではなく、市政は課題山積であります。議会としては、基本的に『是々非々』の立場で市民福祉の向上を主眼とし全力投球で取り組んでまいります。「この記事は、4月15日現在のものです」

主な内容

- ◎特集 北海道ホテル&リゾート(株) 小林社長と日沼議長との対談…… 2
- ◎3月定例会一般質問…………… 3～6
- ◎市議会新人議員紹介…………… 6
- ◎3月定例会議決結果…………… 7
- ◎委員会・林活議連合同視察研修報告…… 8

北海道ホテル&リゾート株 小林社長に聴く芦別の魅力とは



「美容と健康と満天の星」の三本柱をコンセプトに

日沼議長 いきなりですが先ずはスターライトホテルの指定管理者に名乗りをあげたきっかけは？
小林社長 実はお話がある二年ほど前から、ここには富良野には無い「星」という魅力的な観光資源があると感じ、スターライトホテルにも何度も星を見に来てそれを実感しておりました。副社長の森川とも「いつかこのホテルをやってみたいね」なんて話をしておりましたらこうなりました(笑)
ただその時は星を見せる場所を整備すれば、もつと違う観光ができるのではないかと感じてましたね。
議長 では、この温泉ホテルをどの様に変えていこうと？
社長 やはり美肌の湯と呼ばれる泉質を活かし、

展開したいと考えております。
議長 具体的にはどのように？
社長 温泉施設でいえば、できるなら美容と健康に薬湯とか塩サウナをつくってみたいですね。あと「星」をテーマとして、星のガイドツアーを是非やりたいです。
議長 そういえば、もう何か具体的に動かれていますか？
社長 はい、ホテル駐車場向かいに「星空テラス」を計画しております。まさにそこでお客様に、満天の星空を体験していただければと。
議長 それならば星のガイドができる人がいるといいですね。
社長 それなんです、是非地元の方にそのガイドをお願いできないかと考えております。
議長 その他にも、露天風呂と休憩室を自前で改修しているとか。
社長 露天風呂については、木製の壁で囲い、そこに詩とふくろうの絵で楽しんでいただくしつらえを、休憩スペースについては、ゆつくりと一日居ても寛いでいただける空間にしようと思っております。湯あがりには無料のドリンクサービスもしていこうと考えております。
議長 新生スターライトホテルに生まれ変わっていただくために、様々な仕掛けを自らの手で努力されていることに感謝します。ところで提案なんですけどね、



ご案内のように芦別は炭鉱町です かつてここには七万五千人 が暮らしていた。

今は一万四千人余りになってしまったが、芦別をふるさとに持つ人が数多くいらつしやる。その方々向けに「同期会プラン」なんていうのはどうでしょうか。
社長 それは面白そうですね。
議長 というのも、実は去年私もこのホテルで同期会をやりましたね、その際遠方から来た友人たちはホテルもさることながら、翌日行った思い出の場所を巡る「バスツアー」が好評でした、やはり芦別を離れても、ふるさとを思う気持ちには皆同じなんだと思います。それで提案したいのは、是非「思い出の場所を巡るバスツアー付き同期会プラン」を企画してみたらどうでしょうか。
社長 それはいい提案をいただきました。そこにも地元のことをよく知るガイドが同乗すると、もつと楽しいものなりそうですね。



北海道ホテル&リゾート(株)
代表取締役社長
小林 英樹氏 (42歳)
富良野出身

議長 最後にスターライトホテル経営に懸ける想いを聴ければ。
社長 はい、実は今年一月早々から空知の温泉施設をくまなく回ってきて、このホテルですべきことを考えてまいりました。他にない魅力は美肌の湯と満天の星空です。スタツフにもこのことだけを考えて下さいと言っており、それくらいここは素晴らしい環境にあると思っております。あとはそこに、又来てみたいと感じていただけるサービスと仕掛けが必要だと考えております。それには徹底的にお客様の声を聞き出すことが肝要でして、富良野でも行っているのですがアンケートを基にできることからすぐに改善していくことを心がけてまいりました。すでにここでも始めておりまして、わざわざ富良野にまでお電話をかけてこられた方もおりました。与えられた課題に、即座に対応していき、「顧客満足度最優先」の考えで、芦別市民はもとより多くの方々に愛される施設となるようスタツフ一同がんばってまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。
議長 議会としても応援してまいりますので頑張ってください。

3月定例会において通告のあった質問項目の中から1件または数件を要約して掲載しています。会議録は、図書館、コミュニティセンターで閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

3月定例会一般質問



創政会
田森 良隆 議員

国設芦別スキー場について

質問

国設芦別スキー場の休止提案に至る、これまでの経緯、経過について伺う。

答弁

国設芦別スキー場の第1ペアリフト及び第3リフトについては、専門業者から整備推奨基準を超えており、危険な状態にあるとの報告を受けており、安全性を確保しながらスキー場を運営するためには、リフト設備の整備のほか、圧雪車の更新、ロッジの改修等も必要なことから、本市の財政状況や利用者の推移等を検討した結果、スキー場の運営については、休止せざるを得ないとの考えに至ったものと承知いたしております。

質問

4月から代わる温泉の指定管理者は、集客を図るためスキー場と温泉を結びパックを用意することも想定されるが、考え方を伺う。

答弁

新たに指定管理者となる会社からも連携を図り

ながら集客に結び付けたい旨の話もあったところであります。観光の推進・集客には施設間の連携が必要であります。費用面等を考えるとスキー場の存続は困難であると考えているところであります。

質問

営業日の縮小、リフトの縮小など、スキー場の残すための方策を関係者の方々と協議はしたのか伺う。

答弁

スキー連盟からも例えな話ではありますが、具体的な協議は行っていません。存続のために関係者の方々から様々な意見をいただいております。新しい市長になりましたことから、改めて市として存続の可能性があるのか検証させていただいて、5月の定例会では市長から検証結果を示させていただきたいと思っております。



創政会
池田 勝利 議員

新市長の行財政運営の方針について

質問

健全な財政運営を確立するための、新市長の覚悟について伺う。

答弁

人口減による国からの地方交付税の削減、市立病院や芦別振興公社の経営支援等により、市の財政状況は急激に厳しさを増している状況にあります。そのため常に収支均衡型の財政構造への転換を早期に確立する必要があると考えており、事務事業の見直し、スクラップアンドビルドの徹底を図り、公共施設のあり様等について、市民目線を念頭に置きながら、広く市民や議会と課題を共有し、一体となつて今、本市にとって何が必要なのか、何を我慢しなければならぬのか、選択と集中による施策展開への取組が重要と考えております。

私は平成29年度を財政強化元年と位置付け、着実に財政の健全化に取り組む覚悟であります。



市民連合議員団
小川 政憲 議員

新市長の市政運営に対する基本姿勢について

質問

市政運営の指針について伺う。

答弁

本市においては、市の中で辞任をされるといふ、市政史上に例のない事態となるなど、市政に混乱と停滞が生じ、市内外から市政に対し、不安や疑問が呈される状況が続いていたものと認識しております。市民の皆様や議員の皆様からの行政に対する信頼や信用無くして市政を進めることは困難と考えており、まずは早期にこの状況を脱し、市政の信頼の回復と安定を取り戻すことに全力を尽くしたいと考えております。そのためには、誠実で、堅実な市政運営と、誤りのない市政の舵取りに鋭意取り組んでまいります。

質問

財政運営に対する基本的姿勢について伺う。

答弁

私の財政運営に対する基本的姿勢は、「財政の

健全化なくして、施策の展開はない」というのが基本理念であり、自治体経営の基盤には、将来にわたり財政の持続性を確保することにあることから、「歳入たる入りを量りて出づるを制する」よう、身の丈にあつた財政運営を念頭に、早期に収支均衡の財政構造を確立することが、私の方針であります。本市財政を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進行と、これに伴う地域経済の縮小による市税の減少をはじめ、人口を算定基礎とする地方交付税や各種交付金等の削減に加え、市立芦別病院への経営支援等に伴う財政負担の増加により、数年先には留保資金である財政調整基金や備荒資金超過納付金などの枯渇が危惧される危機的な状況に陥ることが懸念されることとあります。このことから、新年度を「財政基盤強化元年」と位置付け、事務事業の見直しやスクラップアンドビルトの徹底、公共施設のあり様等と合わせて、市立芦別病院の経営問題等も含め一体的に検討しながら、財政の健全化を最重要課題として捉え、取り組んでいく考えであります。



公明党
吉田 博子 議員

選挙の広報活動について

質問

若者の選挙投票率向上のため、選挙ポスター掲示板の告知スペースにQRコードを設置する考えについて伺う。

答弁

投票率向上に向けた啓発活動が必要であるためQRコードの設置についても、携帯やスマートフォンを利用して容易に選挙情報にアクセスできるなどの有効性が考えられることから選択肢の一つとして認識し、今後、調査・研究して取り組みを検討していく。

通信環境の整備について

質問

防災拠点となる公的拠点への無料無線LAN（Wi-Fi）環境の整備を進める考えについて伺う。

答弁

現在、道の駅やスターライトホテルの観光施設に設置しているが、防災面では整備されていない状況で、公共施設等の災害時における通信手段の確保を行

う観点から必要性は認識しているもので、今後他市の整備状況を把握しながら検討を進めていく。



日本共産党
松井 邦男 議員

市の公文書の情報公開における一部非公開（黒塗り）の対応について

質問

まちづくりの基本は、市民との情報の共有と参加です。市が保有する情報は、市民の共有財産。情報公開にあたり、特定の個人が識別されるものを除き公開すべき。この間の情報公開で、黒塗り、非公開が一部あつたが、非公開の可否の判断はどこでなのか伺う。

答弁

庁内での統一の取り扱いのため、文書を所管する担当課と総務課で協議、可否を含め確認し他人に知られたくない個人情報保護に努めている。

マイナンバーの問題点について

質問

①市への各種手続き、申請の際にマイナンバーを提示しない方への対応は②市は市

答弁

①国の通知により提出書類に個人番号の記載がなくても、記載しない理由を付けて受理するよう庁内で統一した事務処理をしている。②市が事業所に送付する住民税特別徴収額決定通知書への個人番号記載は、他市と同様記載する。番号を記載しなくても税法上の罰則はないとの国の見解は承知している。

郵便送付によるリスクが懸念され、確実に届けられるよう簡易書留による送付を検討したい。

生活保護に準じる準要保護世帯での新入学児童生徒の入学準備について

質問

①29年度の新入学学用品費の支給額②新入学にあたり購入すべき学用品費用及び支給時期の早期化について伺う。

答弁

①支給額は、小学校では2万3500円。②中学校での入学準備費用は、学校及び男子と女子により異なるが6万円から7万円程度。入学前の支給時期について他市等を調査したい。



政風会
北村 真 議員

出産支援について

質問

陣痛時における緊急搬送のルールを明文化することで出産に対する安心感に大きな差が生まれるのではないかと伺う。

答弁

一般的に陣痛開始時以降の対応は掛り付け病院におきまして、事前に妊婦に説明され、出産予定における当該病院への搬送手段は家族等により、あらかじめ確保されているものと考えております。しかし、陣痛開始時の時間帯や家族等の諸事情により、搬送手段がない場合で緊急やむを得ない時に特例として搬送しています。なお、救急要請の判断は本人、家族等が掛り付け病院に現状を報告し、当該病院の指示により要請する場合、若しくは直接、本人、家族等の判断により要請する場合があるものと考えます。何にしましても、救急要請があった場合には救急隊は出動し必要に応じて掛り付けの病院と連絡、調整するとともに、諸事情を勘案し、最善の方法を選択いたします。

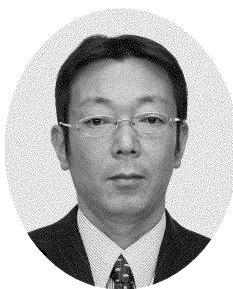
陣痛時における病院までの交通手段の確保について

質問

陣痛タクシーの必要性についての考えを伺う。

答弁

陣痛タクシーの必要性についてではありませんが、その必要性について検討したことはございませんが、タクシー事業者に確認したところ、営業時間帯において事前に対象者名簿の提供があれば、優先的に配車することは可能とのことでありますが、午前3時から同時間帯での非営業時間帯は配車が困難であります。しかし妊婦さんの安心安全面を考慮するうえで陣痛タクシーの制度化については、貴重な提言と受け止めており、なお、その可能性について研究してまいりたいと考えております。



政風会
大鎌 光純 議員

過疎地域における働き方改革について

質問

過疎地域における働き方改革について、若者の起業促進のための創業支援策の拡充について伺う。

答弁

市内において起業したいと考えている方に対しては、商工会議所がフレストップ相談窓口となり、市と声別金融協会の三者が連携した中で、創業から創業後までを支援する体制を明確にした創業支援事業計画を策定し、昨年5月に経済産業省からの認定を受けている。

質問

この計画では、創業希望者に対して、商品やサービスづくりの指導、融資制度の活用による資金調達、企業家支援事業補助金や空き地空き店舗活用補助金など市の補助制度の活用、許認可手続き、創業後の経営相談などアドバイスを商工会議所、市及び金融協会が連携して行うこととしておりますので、この仕組みのより一層の周知を図り、創業希望者に対する積極的な対応と支援を行っていく。

答弁

起業家を呼び込むためには、本市の環境や産業など、まちの魅力を知ってもらうことが重要なポイントの一つであると考えている。積極的に、本市の情報発信に取り組んでまいります。それと同時に、開業するための空き店舗

等の情報を提供する必要があると十分認識しておりますので、市ホームページで空き店舗情報を提供できるように取り組んでまいります。



新星クラブ
石川 洋一 議員

まちづくり推進事業補助金について

質問

3つの補助金メニューの対象事業内容などについて伺う。

答弁

3つの事業メニューのうち、新たに創設した「まちづくりチャレンジ事業」について例えば町内会などによる花壇整備などの環境美化活動、各種団体が主催する地域活性化に資する新たなイベントの開催、子育て支援や健康づくりなどに係る講演会の開催、伝統文化の保全や復活等の文化振興事業などを対象とする。また、既存の人材育成事業、交流促進事業については、対象事業範囲の拡大、補助率の引き上げなど現行制度を拡充する。

質問

地域包括ケアの充実について総合事業における高齢者の介護予防、サ高住に対する行政の考え方を伺う。

答弁

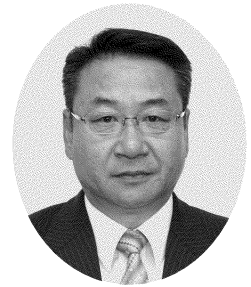
施設の滞在時間やサービスの利用時間が短くなる場合があるが軽度者である要支援者等の身体状況にあった短い時間内の多様なサービスの提供が可能となる。

また、通所介護事業が増えることにより、多くの方が利用できることと考える。サ高住については、高齢者が尊厳を持って、住み慣れた地域で生涯安心して暮らしていくことができるよう、市内に住宅を所有する高齢者を、サービス付高齢者向け住宅へと住み替え支援をし、空いた住宅を子育て世代に有効活用されるよう取り組むこととしている。

ふるさと納税について

質問 具体的な取組とさらに実績を伸ばすための体制をどう整えていくのか考えを伺う。

答弁 地元企業との協力体制によりアイディアなども頂きながら、市内産業の活性化と地元製品の消費拡大に努めていきたい。さらに実績を伸ばすための体制として、現体制のなかで各関係所管と連携を図りながら事務を進めたい。しかしながら、ふるさと納税による地元企業の活性化や地場産業の育成という観点から体制の整備に努めたいと考える。



新星クラブ
瀧 仁美 議員

高齢者による運転免許証の自主返納について

質問

高齢者による痛ましい交通事故が、連日のように多発しております。高速道路の逆走問題もしかり、最も多いのがアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故、ときには子供たちの通学の列に突っ込んだり、誤って店舗に突入するなど、人的な被害も時あり発生しております。定期的に通院されたり、買物や用事足しなど周囲に家族がいない人、また、交通機関に頼れない地域性など、免許証を返納したくてもできない諸事情を抱えている方が相当数おられると思います。高齢者が引き起こすこのような悲惨な事故をどのように捉えているか？行政として、このことに対してどのように対応していくべきか伺う。

答弁

高齢者の交通事故の背景には、免許証を自主返納し、運転を引退したくても、様々な理由によりできないという事情が

あることも否定はできません。自主返納を促すための支援制度の創設については、元々免許証を持っていない方との公平性、公共交通の地域間格差など、難しい問題であると認識しているが、昨年、瀧議員から提言のあった「高齢者の運転免許証自主返納意向調査」を、芦別警察署の協力をいただき、今年の4月から免許証更新手続時に実施し、その上で、今後の対応を協議したい。また、運転免許証の返納には、家族の助言、説得が最も効果的であり家族を対象とした啓発についても広報等により実施していく。



新人議員の紹介

2月26日に行われた市議会議員補欠選挙で、新たな議員が加わりました。

■樋坂 直紀(44)

会派：政風会



○常磐町で豆腐屋さんをしています。
農産物の地産地消と食品加工の6次化を進めることにより、雇用増加につなげることで、また、福祉施策を充実させ、子供たちとお年寄りが安心して暮らせる街づくりを目指していきます。

3月定例会議決結果

3月9日、平成29年第2回市議会（定例会）が招集され、会期を23日までの15日間と定めて平成29年度各会計予算、平成28年度各会計補正予算、条例制定・改正などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

また、国設芦別スキー場存続を求める請願の提出があり、社会産業常任委員会に付託され、議会閉会中継続審査となりました。

■全員賛成の議案

議案	件名	結果
条例改正	税賦課徴収条例等	原案可決
〃	市議会議員及び芦別市長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例	原案可決
〃	生活交通路線維持対策補助金交付条例	原案可決
〃	公共下水道設置条例	原案可決
H28年度補正予算	一般会計補正予算	原案可決
〃	奨学資金特別会計補正予算	原案可決
〃	国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
〃	下水道事業特別会計補正予算	原案可決
〃	介護保険事業特別会計補正予算	原案可決
〃	介護サービス事業特別会計補正予算	原案可決
〃	後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
〃	市立芦別病院事業会計補正予算	原案可決
〃	水道事業会計補正予算	原案可決
H29年度当初予算	一般会計予算	原案可決
〃	奨学資金特別会計予算	原案可決

議案	件名	結果
H29年度当初予算	下水道事業特別会計予算	原案可決
〃	介護サービス事業特別会計予算	原案可決
〃	市立芦別病院事業会計予算	原案可決
〃	水道事業会計予算	原案可決
その他	市道の認定	原案可決
〃	陶芸センターの指定管理者の指定	原案可決
〃	緑地等管理中央センターの指定管理者の指定	原案可決
〃	オートキャンプ場の指定管理者の指定	原案可決
〃	財産の取得	原案可決
意見書	「テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）」法案の撤回を求める意見書	原案可決
〃	安心・安全の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書	原案可決
〃	「準要保護世帯」に対する就学援助制度の拡充を求める意見書	原案可決
〃	無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書	原案可決
〃	指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書	原案可決

■賛否が分かれた議案

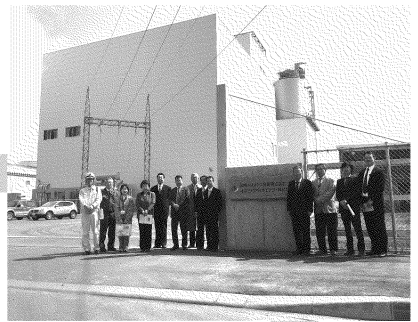
○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席、／：採決なし、議：議長

議案	件名	結果	大橋	瀧	石川	大鎌	北村	樋坂	松井	吉田	小川	池田	田森	日沼
			二郎	仁美	洋一	光純	真	直紀	邦男	博子	政憲	勝利	良隆	昇光
条例制定	乳幼児一時預かり事業条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
条例改正	個人情報保護条例及び情報公開・個人情報保護審査会条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
〃	特定公共賃貸住宅管理条例及び市営住宅等管理条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
H29年度当初予算	国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
〃	介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
〃	後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議

議員会・林活議連合同視察研修報告

林活議連事務局長

小川 政憲



林活議連事務局長
の導入により、近年全国的

に導入され始めた「木質バイオマス」による発電事業について、道内における幾つかの導入事例の中から今回、住友林業㈱（本社東京都）と住友共同電力㈱（本社新居浜市）の共同出資により紋別市に新会社（出資比率51対49）を設立し「木質バイオマス発電所」と「チップ製造施設」を建設、昨年12月営業運転を開始した両施設を視察研修しました。二つの施設はそれぞれ別会社として立ち上げられ、紋別港埠頭に全体敷地7万3千㎡を確保、総事業費150億円をかけて建設されたが、建設費には国、

道その他からの助成金は入っていないとのことでありました。発電規模は5万kw（うち10数%自家消費）、年間販売電力量3億kw/h年で、北電紋別変電所に接続し、電圧6万6千Vで送電している。燃料年間量は、木材21万8千t・石炭（釧路・ロシア産）5万t・PKS（パームヤシ殻・アジア圏）5万tである。燃料の半分を占めるチップの生産・木材の集荷拠点は紋別工場（チップ10万9千t/年）の他、オホーツク管内枝幸、生田原にサテライト工場や貯木場（15ha）を確保し量的に充分確保されている。燃料であるチップの納入単価（t当り）は企業秘密として公開されませんでした。初年度から黒字経営との事でありました。雇用は、両社（委託業者含む）合わ

せて60名であり、地元への経済効果は大きいものと判断される。私が見てきた同種施設の中でも、燃焼効率を上げるための補助燃料を使用していることから発電規模及び設備投資額も大きく、資本力のある企業ならではの施設規模に感心させられました。今回の研修結果を踏まえ、本市「木質バイオ」事業のあり方について検討してまいります。



議会の動き

平成29年2月～4月中旬

- 【2月】
- 17日 社会産業常任委員会
株別振興公社経営問題調査特別委員会
- 21日 中空知衛生施設組合議会
空知教育センター組合議会
- 22日 中空知広域市町村圏組合議会
石狩川流域下水道組合議会
- 【3月】
- 1日 滝川地区広域消防事務組合議会
- 2日 当選議員説明会
議会運営委員会
- 9日～23日 第2回市議会(定例会)
- 15日 社会産業常任委員会
総務常任委員会
- 16日 株別振興公社経営問題調査特別委員会
- 16日・17日 予算審査特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 21日・22日 予算審査特別委員会
- 【4月】
- 4日 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟行政視察(紋別バイオマス発電施設等)
- 5日 広報広聴委員会
- 14日 社会産業常任委員会
- 18日 社会産業常任委員会
広報広聴委員会
議会改革特別委員会
- 19日 石川県加賀市議会行政視察
- 21日 広報広聴委員会
議会運営委員会

第3回市議会(定例会)のお知らせ

- 会期 5月11日(木)～19日(金)
- 日程 11日(木)本会議(議案の提案)、15日(月)本会議(代表質問)
- 16日(火)本会議(代表質問・一般質問)
- 17日(水)・18日(木)常任委員会
- 19日(金)本会議(議案の議決)
- 開会時間 いずれも午前10時から
- ※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります

編集後記

市議会だよりも第3号を発刊することになりました。市政60有余年で初めて任期途中で市長が辞職をし、2月、市政に安定と信頼を取り戻すとの思いで、新たに荻原市政が誕生しました。併せて、補選では樋坂氏が初当選をされ、新人議員も6名とまりました。

市議会だよりでは、これまで振興公社問題を特集として掲載してきましたが、最近少し気になることを聞かれました。今まで100名を越えていたホテル従業員が新しい指定管理者に代わることで、半減するとの内容でした。実は、100名を越える公社従業員全員がホテル業務に従事していたわけではなく、道の駅や旭ヶ丘公園等の管理運営を行っており、当面は振興公社が委託事業を継続します。振興公社のあり方は、今後も議論を重ねていきますが、荻原新市政に大いに期待するところであり、共に頑張りたいと思います。

(石川)

芦別市議会広報広聴委員会

- 委員長 小川政憲
- 副委員長 石川洋一
- 委員 池田勝利、大橋二朗、北村真
- 松井邦男、吉田博子